

埼玉県鴻巣市立吹上北中学校

コスモス



秋 桜

学校教育目標 夢に向かって学び鍛える心豊かな生徒 -夢・学・想-
令和7年12月1日発行

令和7年度学校だより第9号



〒369-0112 鴻巣市鎌塚550 tel : 048-548-0081 fax : 048-547-1471
ホームページ: <http://fukiagekita-j-konosu.edumap.jp> E-mail : fukiagekita-j@city.konosu.ne.jp

さらなる成長を

吹上北中学校長 丸岡聖典

～小林三智雄先生の御講演を終えて～

11月28日に小林三智雄先生の御講演をいただきました。冒頭に落語「時そば」を一席。生徒達には、ほっこり楽しいひとときとなりました。また、参会の保護者の皆様には先生の教え子の方もいらっしゃいました。

先生から学んだことは、

- ①笑いやユーモアが円滑な人間関係・コミュニケーションを作ること。
- ②話の肝を理解させる、指導者としての姿勢。
- ③人を満足させるエンターテイメントの要素。

いずれにしても先生の人柄がうかがわれ、「苦しいことがあるときも笑顔を絶やさない」ことの大切さを知らされました。

さて、今年は様々なご苦労がありましたが年が暮れようとしています。恒例の新語・流行語大賞候補には「エッホエッホ」「国宝（観た）」などユーモアを感じます。生徒達にも「吹北中今年の流行語・今年を漢字で表すと？」を募集します。どんな言葉が繰り出されるか楽しみです。

私たちの生活では変化が激しく、人もめまぐるしく動いているため、いろいろな事とすれ違います。大切な事なのに自分の都合（利害）から見過ごしていることが多いです。そんな今、北大路魯山人氏（芸術家 1833~1959）が残した言葉「座辺師友（ざへんしゆう）」が光ります。「自分の周りのすべてが師であり、友であること」このような意味が込められていると思います。周りの心をおのずと学び取り、成長できるこれからにしたいです。



虹の松原



眼鏡橋

旅に出よう その8
(九州北部・佐賀・長崎県)
若い頃、東京で働いていた仕事の合間に期間に、佐賀の唐津へは福岡空港からレンタカーで国道を走り入りました。松原の海岸を抜けると楽しみにしていた素敵な街がありました。その何年か後に職場の同僚と長崎ではグラバー邸やハウステンボスを巡り、眼鏡橋の近くの「しつぽく料理」で一杯やり、〆は「長崎ちゃんぽん」、お土産にはザラメが決め手の「福砂屋のカステラ」を。思い出いっぱいの九州旅行でした。